

安全報告書

2025



長良川鉄道株式会社

1. ごあいさつ

日頃から、長良川鉄道をご利用いただくとともに、弊社の運営にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、経営理念の第一に安全輸送を掲げ、法令の遵守と共に、安全・安心な鉄道輸送を心がけております。また、安全を第一に地域の公共交通として、「地域に必要とされる鉄道」、「地域に貢献する鉄道」として、地域活性化の重要な役割も果たしてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき長良川鉄道の、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態につきまして、皆さまに公表させていただくものです。

皆さまのご意見やご感想をいただけましたら幸いです。

長良川鉄道株式会社
代表取締役社長 山下 清司

2. 安全に関する基本方針と目標

(1) 基本方針

社長、役員及び社員は、経営理念の第一は安全輸送である。このことを十分認識して職務を遂行し、輸送の安全を確保します。社長、役員及び社員等の安全に係る規範は次のとおりとします。

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努める。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は、最も安全と思われる取扱いに努める。
- ⑤ 事故・災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全かつ適切な処置に努める。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に努める。

(2) 安全目標

『鉄道運転事故のゼロ』を目指して取り組みます。

2025年度の強調項目

運 転	慣れた作業に潜むリスク 意識した指差喚呼で安全確認
営 業	些細な事でも、疑問を感じたらすぐ対応
技 術	情報はみんなで共有、安全作業

3. 安全重点実施施策【2025 年度】

ハード面及びソフト面に施策を掲げ、安全目標の達成に向けて取組めます。

(1) ハード面の重点実施施策とその取組み内容

・重点実施施策 計画的な設備投資による列車運行の安全確保

・取組み内容

国、岐阜県及び沿線自治体からの支援を得て、施設・車両の整備等を図り、保安度向上と安全性の向上を図ります。

設 備	項 目	実施箇所等
線 路	レール交換(重軌条化) 1/3PC マクラギ化・合成マクラギ化	関口～美並荻安
信号保安	線区集中連動化	富加～関
車 両	車両更新 (部品購入)	ナガラ600形3次車 1両
	全般検査2両	ナガラ300形307号車 ナガラ500形503号車

(2) ソフト面の重点実施施策とその取組み内容

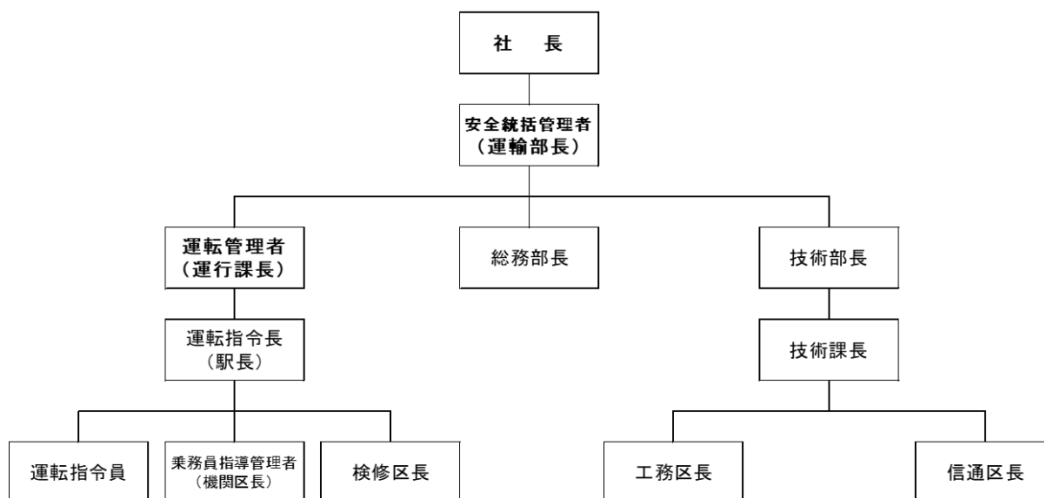
・重点実施施策 計画的な教育訓練による人材育成の実施

・取組み内容

社員の知識・技能の維持向上を図り、列車の安全輸送を遂行するため、各部門において年間計画に基づいた教育訓練を実施します。

部 門		回数	主な内容
運 輸	運転指令員	4	天災等の異常時における模擬訓練 CTC システムへの変更に伴う訓練
	駅係員	4	転てつ器・制御盤等の取扱い
	運転士	6	踏切事故・車両故障等の異常時における実設訓練 基本動作・運転実施基準等の再確認
	検修関係	5	車両故障時の処置・各車両機器の取扱い
技 術	工務関係	4	保線作業、分岐器・乗降場・トンネル検査基礎教育 モーターカーラッセルの取扱い
	信通関係	4	保線作業基礎教育(信号ボンド装着) 伐木等作業時の安全対策(チェーンソーの取扱い)

4. 安全管理体制



【責任者の役割】

社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者(運輸部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。
技術部長	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する。
運転管理者(運行課長)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 (機関区長)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。

5. 事故等の発生状況

(1) 運転事故

過去3年間の発生数は次のとおりになります。

年 度	2023	2024	2025
列車事故(衝突・脱線・火災)	0	0	0
乗客の死傷事故	0	0	0
踏切障害事故	0	0	0

(2) 輸送障害【2024年度】 ※輸送障害とは、運転事故以外で運休や30分以上の遅延が生じたものです。

内 容	件 数
設備・車両の故障等	12
降雨・台風・地震等の自然災害	13
火災・動物・倒木等による線路内支障	3
その他	3

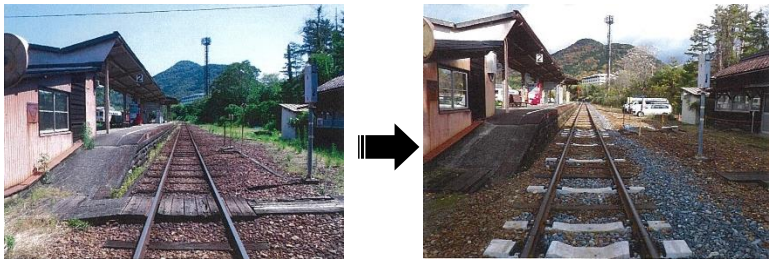
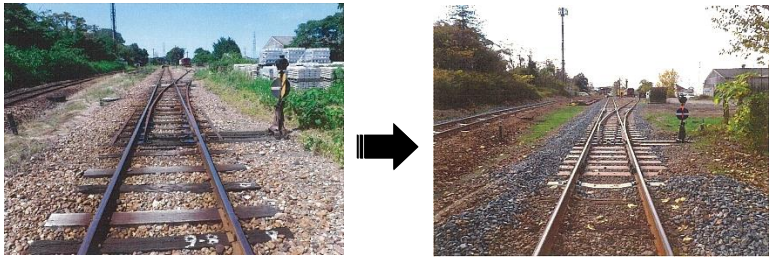
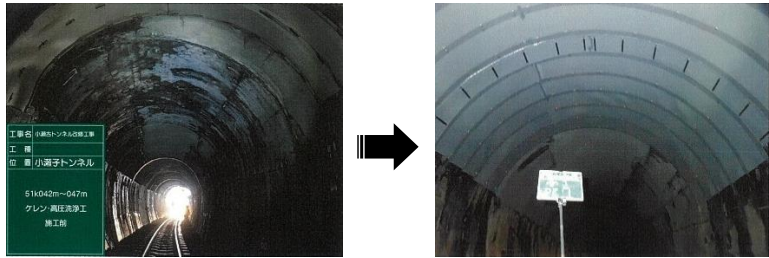
(3) インシデント【2024年度】 ※インシデントとは、事故等が発生するおそれのある事態のことです。
発生はありません。

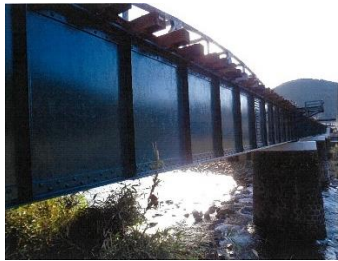
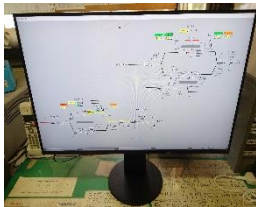
6. 2024年度における安全確保の取組み

ハード面及びソフト面において、安全確保に向けて取り組みました。

(1) ハード面の取組みとその内容

国、岐阜県及び沿線自治体からの支援を得て、施設・車両の整備等を図り、保安度向上と安全性の向上を図りました。

設 備	項 目	実施箇所等
線 路	レール交換	美濃市駅構内 680. 1m
	PC マクラギ化	美濃市駅構内 353本
	分岐器更新	美濃市駅構内 1組
	【レール交換・PC マクラギ化】 「交換前」 「交換後」  【分岐器更新】 「交換前」 「交換後」 	
設 備	項 目	実施箇所等
トンネル	トンネル改修	小瀬子トンネル(自然園前～山田間)
	「施工前」 「施工後」 	

設 備	項 目	実施箇所等
橋りょう	橋りょう改修	吉田川橋りょう(郡上八幡～自然園前)
	「施工前」	「施工後」
		
設 備	項 目	実施箇所
信号保安	線区集中連動化	関～美濃市
	関係機器装置 制御盤モニター設置	出発信号機・ 入換信号機設置
		
		
設 備	項 目	購入・実施車両等
車 両	車 両 更 新 車両全般検査	ナガラ600形3次車(603号車) ナガラ300形306号車・500形502号車
	【車両更新(車体製造・部品購入等)】 「車体構体(塗装前)」	「台車枠(動台車)」
		
	【車両全般検査】 「ナガラ300形306号車」	

(2) ソフト面の取組みとその内容

社員の知識・技能の維持向上を図り、列車の安全輸送を遂行するため、社内の各部門において年間計画に基づいた教育訓練の実施及び、外部の専門的な教育機関の講習を受講しました。また警察及び県・市と連携した緊急時の対応訓練も実施しました。

① 社内における教育訓練・乗務員養成

部 門		実施日	主な内容
運 輸	運 転 指令員	6月21日	異常時模擬訓練
		7月30日	・降雨時における対応方
		8月22・28日	転てつ器転換・鎖錠金具設置方訓練
		11月21日	異常時模擬訓練
		12月22日	・伝令法施行時における対応方
		2024年2月19・21日	集中電子連動化について 退行運転時の取扱い方
	駅係員 (運転指令 員含む)	5月28～30日	600車両の連結・解放作業方の確認 障がい者接客対応
		9月11～13日	信号機の種類・現示方の確認 危険予知対応
		12月12日・13日	富加駅構内冬期対策訓練 (発条転てつ器転換方・カンテラ設置方等)
		2024年 1月28～30日	伝令法施行時の対応方 異常時の案内方
		3月17～19日	代用閉そく方式「伝令法」実設訓練 ※運転士と合同で実施
	運転士	5月14～16日	異常気象時等に伴う運転取扱い 600車両の連結・解放作業方の確認
		7月23～25日	出区点検項目の確認 指差喚呼・連鎖扱いの確認
		9月24～26日	非常事故の処置(避難梯子の設置方)
		12月2～4日	2両及び3両編成時における乗降扉扱い方
		1月29～31日	安全運転を目指して(ヒューマンエラー等の確認)
		2025年 3月12～14日	代用閉そく方式「」実設訓練 ※駅係員と合同で実施
	検修関係	5月15日	冷房整備時における取扱い方の再確認
		8月14日	防護用具及び搭載用道具箱の点検と整備
		10月16日	車両故障等の処置及びその後の状態確認
		2025年1月27日	暖房整備時における取扱い方の再確認 車両故障等の処置及びその後の状態確認

部 門		実施日	主な内容
技 術	工務関係	5月13日	遊間・分岐器検査の方法及び基準値の確認 保線作業基礎教育
		8月23日	列車運行異常時における対応方 草刈り機・チェーンソー等取扱い及び安全対策
		12月6日	ラッセルモーターカーの取扱い及び試運転 冬期の安全対策
		2025年3月3日	次年度の定期検査の予定確認 保線作業の基礎教育
	信通関係	4月24・30日	ゼロ災運動・危険予知活動について
		5月16日	ヒューマンエラーの原因について
		7月11・24日	刈払い機及びチェーンソー取扱いの教育
		8月23日	高所作業時の安全対策
		10月4・7・18日	防護用具の点検整備
		12月2・6日	冬期対策の再確認(労働災害及び交通労働災害)
		2025年3月11・27日	今年度の工事実績報告と次年度工事の予定確認 レールボンド・送着線の施工方法

【運転指令員】

異常時模擬訓練



転てつ器手廻ハンドルによる転換訓練



【駅係員】

ナガラ 600 形 連結・解放作業訓練



富加駅発条転てつ器転換・カンテラ設置訓練



伝令法 実設訓練(運転士と合同で実施)

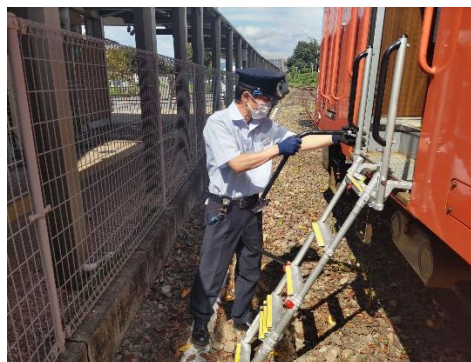


【運転士】

出区点検項目を実車にて確認



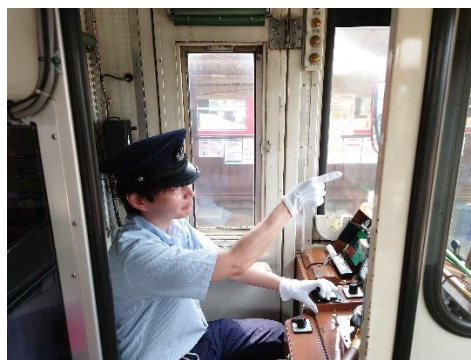
非常事故の処置訓練(600形避難梯子の設置)



ヒューマンエラーの確認



指差喚呼・連鎖扱いの再確認



② 外部教育機関の受講実績

項 目	本 社	運転士	駅係員	検修係員	工務係員	信通係員
受講講座数	1	2	2	3	3	7
受講人数	1	2	3	7	5	8

③ 警察署、県・市との合同訓練

関係機関	実施日	内 容
加茂警察署 県警鉄道警察隊	6月28日	訓練列車を設定し当列車走行中の車内にて、他の乗客とトラブルを起こした不審者が、加茂野駅発車後運転士にナイフで威嚇。その後運転士は、運転室扉を閉め運転指令員に警察への通報を依頼し、またその他の乗客は車内後方へ避難。当列車は途中駅を通過し美濃太田駅到着後、乗客を避難させ運転士及び駅係員が盾を持って不審者と対峙。その最中に運転指令員から通報を受けた警察官が車内へ突入し不審者を確保。
岐阜県 郡上土木事務所 美濃土木事務所 関 市	7月19日 " 2025年 3月13日	道路管理者と、「災害時の管理の方法を定めるべき踏切道」において、災害時における当該踏切道の情報伝達方の訓練。

【警察との不審者訓練】

不審者が他のお客様とトラブル発生



不審者が運転士を威嚇



駅係員及び運転士が不審者と対峙



警察官が不審者を確保



7. ご利用の皆さま・踏切を横断される皆さまへお願い

事故防止のため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

- ・ 沿線には137箇所の踏切があります。そのうち、警報機のみ設置の踏切(第3種)が17箇所、警報機及び遮断機が無い踏切(第4種)が29箇所あります。
踏切を渡る時は、必ず手前で一旦停止・左右をよく見てから渡りましょう。
- ・ 踏切及び駅構内の通路では、警報機が鳴ったら渡らないでください。
- ・ 駆け込み乗車は大変危険です。時間に余裕をもってホームで列車をお待ちください。
- ・ 線路内には立ち入らないでください。

8. お問い合わせ先

安全報告書及び、当社の安全への取組みに対するご意見やご感想をお寄せください。

〒501-3881

岐阜県関市元重町74番地の1

長良川鉄道株式会社

TEL 0575-46-7420

FAX 0575-46-8540

メールアドレス <http://www.nagatetsu.co.jp/contact/>

受付時間 8:30~16:55(但し土休日及び年末年始を除く)